

学習課題

みんなで解決したい問い

書き手の考え方のちがいに注目して要旨をまとめ、考えたことをブログにして伝え合おう。

主体的に学習に取り組む態度

わかること・できること

知識・技能

- ⑦ 文と文との接続の関係、文章の構成や展開について理解する。(1カ)

考えること・表すこと

思考・判断・表現

- ① 文章の全体から要旨を読み取る。(C(1)ア)
- ② 自分の考えと筆者の考えを比べてちがいを明確にし、筆者の考えを引用しながらブログに自分の考えをまとめる。(C(1)オ)

工夫して学ぼうとすること

- ④ 筆者と自分の考えを繰り返し比べることで、筆者の真意と自分の考えの深まりにせまろうとする。

【第3ステージ (2) 時間】

評価 ①

〈こんな学習をしてこんな力を！〉

- ⑦ 「子どもの哲学」の哲学者の考えを引用して、自分の考えをブログに書く。
- ⑧ ブログを読み合い、学習をまとめ、振り返る。

【第1ステージ (1) 時間】

〈こんな学習をしてこんな力を！〉

- ① 文章を読んで筆者の考えと自分の考えを比べた経験を振り返り、『ぼくの世界、君の世界』を読んで学習計画を立てる。他の人の考えと自分の考えを比べて書くために必要なことを考え、学習課題の解決の見通しとゴールをイメージする

【この単元を通した振り返り】 振り返りの観点

ゴール

- 要旨を読み取る時、どのようなことに気が付きましたか。
- 筆者と自分の考えを比べるとき、どのようなことに気が付きましたか。
- ブログを書く時、どのようなことに気が付きましたか。

【第2ステージ (5) 時間】

評価 ②③④

〈こんな学習をしてこんな力を！〉

- ② モデル文を使い、要旨の捉え方を知る。
- ③④ 『ぼくの世界、君の世界』を読んで要旨をまとめ、筆者の考えを引用して自分の考えを書く。
- ⑤⑥ 「子どもの哲学」を読み、複数の筆者の要旨をまとめ、自分の考えを書く。

【この単元に関わって知っていること・できること】 どのような言語活動を通してどのような力をつけてきたか？

段落の要点からわかったことをまとめ、自分の考えについて叙述をもとにした理由を明らかにして表す。



小学校6年『ぼくの世界、君の世界』授業のポイント

単元名 筆者の考え方に対する自分の考えを伝え合おう



本教材は、筆者が感じた疑問について思索を重ねて検討し、新たな発見や問いの答えとなる考えにいたる過程を描いた論説文です。この文章は、問題を示し、それを解明するかたちで進みます。問いが解明されると、新たな問いが現れ、さらに検討をして結論を導きます。それらの結論は、客観的な事実ではなく、事例となるできごとを仮定し、さまざまな可能性を考えた結果となっています。

1 単元で身につけたい資質・能力

本単元では、筆者の考え方や論理展開を追いながら要旨を捉え、自分の見方や考え方と比べて書く力をつけます。

「要旨を捉えるための読み」や「自分の見方や考え方と比べるための読み」など、客観的で批判的な読解を経て、自分の見方や考え方と比較して記述することができるようにします。

2 評価規準

評価の観点	評価規準
知識・技能	• 文中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開について理解している。…(1カ)
思考・判断・表現	◎ 「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章の要旨を把握している。…C(1)ア • 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。…C(1)オ
主体的に学習に取り組む態度	• 文と文との接続の関係、文章の構成や展開について理解し、論説文を読んで考えたことをブログに書く活動を通して、文章の要旨を捉え、自分の考えをまとめることに向けた、粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。

本単元における子どもたちのゴールイメージ

本単元では、要旨を捉え、あげられた問題についての自分の考えをブログに書いていきます。筆者の考えと比較しながら考えることで、自分の考えをより明確に形づくりします。この表現形式は、紙媒体でもデジタル上でも活動できます。

第3ステージ⑦の段階において、第2ステージで書いた自分の考えをまとめた文章をもとに、ブログ形式で400字程度の文章に書きます。ブログは、筆者と作者児童それぞれの考えの比較、事例どうしの関連づけ、テーマに対する内容の連続性、という視点で書きます。そして、⑧の段階で各自のブログを読み合います。言語活動として設定した「ブログ」を書く活動を通して、目標の実現状況进行评估します。

400字程度にまとめた「ブログ」の例



みよこブログ「わたしの心の世界」

本当の友だち

2021.10.29

私には親友がいる。しょう君とゆみかさんだ。2人と話していると、とても安心できる。今日も3人で、バドミントンで遊んだ。楽しかった。
『子どもの哲学』(朝日新聞出版)では、「友だちはたくさんつくべきか？」という問題について、複数の哲学者が論じている。その中で、私はムラセさんの考えに共感した。ムラセさんは、同書の中で「友だちが(省略)大勢いる必要はない。ちゃんと話ができる相手(省略)が少しだけいれば十分だ。」と述べている。
私は、しょう君とゆみかさん以外にも話をする友だちはいる。しかし、二人ほど安心できる人はいない。「安心できる友だち0人と話せる友だち100人」と「安心できる友だち2人と話せる友だち5人」ならば、後者のほうが幸せだと思う。友だちは量より質だ。増やせるならば、そんな親友を増やしたい。明日は、隣の席のひろし君も遊びにさそってみようと思う。

「いいね！」コメント

私もムラセさんの「関係を意識してつくる」に共感しました。みよこさんも意識しているのがわかります。めい

安心できる友だちがいるのはうれしいよね。ほくもみよこさんと親友になりたいです。よろしくね。ひろし

解説

自分の考えを表したブログを書く時と、書いたブログを読み合う時の視点は同じです。筆者と自分の考えの比較、事例等による考えの深まり(関連性)、テーマに対する一貫的なつながり(連続性)の3点について、意識できるようにします。
交流では、ブログを読んで良かった点を「いいね！」と感想を付箋に記して添付します。自分のアイコンを描いて、学びの楽しさの工夫を考えることもできます。



ワンポイント

教材文の要旨を参考に、筆者のあげた事例とは異なる事例から考えたブログを書こう！

【ワークシートの一部】

自分の見ている世界は、他の人と同じだろうか。あまみや痛みのような感覚は、共通ではなく、感じていることが同じという保証はない。しかし、私たちは理解し合えないのではなく、私たちが理解し合えないのは、自分だけの心の世界がある。だからこそ、心を伝え合うための努力が必要である。

比較できる自分の経験 筆者の考え 引用したい自分の考え

同じ友達の考えがわからない。人の心は、自分だけの心の世界がある。

【要旨を引用したブログ】

昨日、私は、友達とけんかをした。きっかけはささいなことだったが、言い合いが止まらなくなってしまった。
作家の西研は、『ぼくの世界、君の世界』で、「人は、自分だけの心の世界がある。だからこそ、心を伝え合うための努力が必要である。」と述べている。明日は、友達の考えをじっくり聞こうと思う。

ラーニング・マウンテンについてはこちらから



ラーニング・マウンテン
— 学びのプランを立てよう —
【6下『ぼくの世界、君の世界』】

単元名〔

〕全()時間



みんなで解決したい問い

わかること・できること

考えること・表すこと

工夫して学ぼうとすること

【第 **3** ステージ () 時間】

〈こんな学習をしてこんな力を！〉

.....

.....

【第 **1** ステージ () 時間】

〈こんな学習をしてこんな力を！〉

.....

.....

【第 **2** ステージ () 時間】

〈こんな学習をしてこんな力を！〉

.....

.....

.....

.....

【この単元を通したふり返り】

ゴール



スタート



【この単元に関わって知っていること・できること】

.....